



2011~2012年度 テーマ

Reach Within to Embrace Humanity

— ころろの中を見つめよう 博愛を広げるために —

2011~2012年度 R.I.会長

カルヤン・バネルジー (インド・バピRC)

# SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN  
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内

TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日)

TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/

E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 24 年 3 月 14 日

第 3,016 回例会

NO 32

《本 日》会員数 76名 (出席免除会員 25名)・出席 55名・免除者欠席 10名・欠席 11名・ビジター 1名 ・出席率 72.37%

《前々回》会員数 76名 (出席免除会員 25名)・出席 58名・免除者欠席 9名・欠席 9名・メイクアップ 9名・修正出席率 100.00%

## 会 長 挨 拶

会長 梅村 良輔さん

相変わらず肌寒い日が続いてお  
りますが、しかし確実に春の訪れ  
を感じる今日この頃です。



3日前の3月11日、東日本大震災  
から丸1年が経過しました。

そのあらゆる面においての犠牲の大きさに、  
今更ながら自然の脅威と核の恐怖を思い知らさ  
れた1年でした。遅々として進まない復旧、復興。  
しかしながら、報道でしか見てないのですが、  
被災者の方々の前向きな姿勢。多くを失って失  
意のどん底から這いあがって、その後に見せる  
あの明るさ、逞しさ。その強さはどこから湧き  
出してくるのでしょうか？東北人特有の粘り強  
さのためでしょうか？九州人だったら？

いずれにせよ春は必ずやって来ます。官民を  
問わず総力を結集して、その解決に突き進まな  
ければならないと思います。私たちは何をすべ  
きか？何ができるか？を考えていきましょう。

本日は、山本ガバナー補佐にご来訪頂いており  
ます。岩永ガバナーを補佐して、第5グループを  
まとめておられます。あと約3か月半、まとめの  
時期に入ろうかと思しますので、今後とも宜しく  
ご指導くださいますようお願い申し上げます。

## 例 会 記 録

○ロータリーソング「我らの生業」

○卓話者

社会福祉法人 長崎県障害者福祉事業団 つくも苑  
理事長 西 司様

○ビジター

松浦RC 第5グループガバナー補佐 山本 浩平さん  
武部 勝海さん

## ご あ い さ つ

第5グループガバナー補佐 山本 浩平さん

「I・M」のお礼と「地区大会」へ  
参加のお願い



みなさんこんにちは！

本日は、1月に開催されました  
「I・M」出席のお礼と、来月開催さ  
れます「地区大会」へ、多数ご参加いただきます  
ようお願いに上がりました。

さる、1月28日に開催されました「I・M」には、  
貴クラブから数多くの会員皆様に出席いただき  
まして、本当にありがとうございました。お陰  
様で、第5・第6グループ合わせて258名の登録を  
いただき、当日は200名以上の会員のみなさまに  
ご出席いただきました。ここに厚くお礼申しあげ  
ます。

今回の「I・M」は「震災と復興」を一つの課題  
として、近隣クラブのロータリアンが集い、現  
状を聞き、そして考え、この件について理解が  
進み、会員同士での会話が出来ましたことに、  
私たちミーティングリーダー、副リーダーとし  
て深く感謝致しております。

特に現地パネラーの方からの「多くの方が現  
地を訪れ、被災者を元気づけてほしい」と訴え  
られた言葉が、私の心の中に残っております。  
今回の人と人との関わり「絆」を継続していきな  
がら、復興のお手伝いをしていきたいと強く思  
いました。

さて次に、4月6日・7日に開催されます「地区大会」の件でございます。すでに、登録はお済みと思いますが、一人でも多くの会員皆様のご参加をよろしくお願い致します。

過去5年間の大会登録数を見てみますと、5年前（長崎・田口G）1,600人、4年前（佐賀・野口G）1,400人、3年前（HTB・鈴木G）1,300人、2年前（島原・高城G）1,100人、昨年度（有田・高原G）1,190人となっております。ここ近年段々と減少してきております。今年度は、岩永ガバナーも今まで以上の登録ご参加に力を入れておられます。会場も長崎ブリックホールで開催、本会議では第2700地区の廣畑富雄パストガバナーによる講演が予定されています。

また、第90代内閣総理大臣 安倍晋三氏の特別講演も予定されています。そして、記念懇親会はホテルニュー長崎で行われます。どうぞ一人でも多くの皆様方のご参加をお願い致します。

貴重なお時間を頂戴いたしまして、ありがとうございました。

## 幹事報告

幹事 田中丸善弥さん

### 1. 第2740地区ガバナー 岩永 信昭さん 地区幹事 中野 哲生さん 盛岡西北RCからのソーラー街灯設置協力要請 に対する当地区の見解

ガバナー事務所への事前の連絡が無い事とガバナー同士の話もありませんでしたので、地区としては一切関知せず、各クラブの意思にお任せすることと致しました。

### 2. 全国インターアクト研究会 大会委員長（元RI理事） 黒田 正宏さん RI第2680地区ガバナー 久野 薫さん 大会実行委員長PDG 三木 明さん 新世代奉仕委員会委員長 常次 佳丈さん

#### ①第1回全国インターアクト研究会ご案内と参加・登録依頼

日時／2012年6月2日(土)

会場／神戸女子大学 ポートアイランドキャンパスにて

日時／2012年6月3日(日)

会場／神戸ポートピアホテルにて

#### ②第1回全国インターアクト研究会事前調査アンケート実施について

4月6日迄にガバナー事務所までご返信

### 3. 第2740地区ガバナー事務所

地区ホームページ更新のお知らせ  
3月2日、5日です。

### 4. 2010-2011年ガバナー 高原 武彦さん ロータリー文庫

創立60周年記念誌のお礼状が届きました。

### 5. 長崎国際大学ローターアクトクラブ 「2月月報」が届きました。

## 委員会報告

財団奨学・米山委員会 委員長 溝口 尚則さん  
梅村良輔会員よりロータリー財団へご寄付いただきました。

## ロータリー3分間情報

クラブ会報委員 久富 洋一さん

「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」カルヤン・バネルジーRI会長はこのマハトマK. ガンジー氏の言葉を引用して私たちは持続可能性ということをお忘れはならないと説いています。すなわち、もともとロータリーが始めたプロジェクトであったとしても、地域社会が自分自身の仕事だと考え、機能し続けるものでなければならない。私たちが変化を起こそうと試みるなら、私たちが手を差し伸べようとするなら、開かれた心と献身、さらには約束したことを果たすことによってだけ他の人々を助けることが出来ると述べられています。

また、2012-13年度に日本から3人目のRI会長として就任される 田中作次RI会長エレクトも「Peace Through Service (奉仕を通じて平和を)」をテーマとして発表されました。ロータリーの奉仕を通じて、私たちは大きな問題のように見える事でも力を合わせれば解決できることを学び、人を思いやることを学ぶとおられます。

2011年3月11日 東日本大震災が起こって一年が経ちました。先月2月10日に復興庁が創設され、ようやく国の支援が本格的に始まろうとしています。しかし復興はなかなか進んでいません。仮設住宅で生活をしている被災された方々に手を差し伸べ、ボランティア活動や義捐金による援助など、各地のロータリアンはいろいろな形で支援を続けています。



被災地の方々が震災前の生活に戻り、自立できる持続可能な地域社会を形成出来るよう一日も早い復興を願っています。私たちは日本人として今回の震災を教訓にこれから震災・津波被災地域の復興計画の実現など皆で力を合わせて大きな課題を解決していかなければなりません。被災地から遠く離れた九州の地で今私に何が出来るか明確な答えは持ち合わせませんが、直接的にはないにせよ一人のロータリアンとして田中作次 次期RI会長の「Peace Through Service (奉仕を通じて平和を)」のテーマを胸に、わが国の平和を願って行動していきたいと思ひます。

今、日本は国民が一致協力して震災復興を行い、経済危機やエネルギー危機などの国家レベルの大きな課題を解決していかなければ国際社会から取り残されてしまうかもしれません。

昨年11月20日国際ロータリー第2620地区の地区大会記念講演として「松下幸之助 成功の発想と危機克服の心得」と題した松下資料館の川越顧問の記事が掲載されていました。松下幸之助氏曰く「①人間には歴史の中であらゆる危機に遭遇し克服してきた知恵がある。それを生かすために歴史をしっかりと勉強すること。②原点を思い起こせばもう一度やり直す勇気がわいてくる。③あるがままの現実を受け入れて、それをどう乗り越えるかという知恵をいかに発揮するか。」この三つのことを言われていたとのことでした。

まさに今、震災で疲弊した日本が復興に向けて立ち直るために、この松下幸之助氏の教訓を活かせるのではないかと思います。各地のロータリアンが手に手を携え奉仕の精神で個々人の身の丈にあった活動を行うことで、明るい日本の未来が開けて来るのではないのでしょうか。

## 祝

親睦活動委員会 大久保利博さん

### ○今月の誕生祝い

- 田中 信孝さん (3日)
- 納所 佳民さん (8日)
- 中島 祥一さん (12日)
- 古原 進さん (21日)
- 井手 孝邦さん (28日)
- 東 陽三郎さん (31日)
- 増本 一也さん (31日)



## ニコニコボックス

親睦活動委員会 土井 弘志さん

第5グループガバナー補佐 (松浦RC)

山本 浩平さん

本日は「I・M」のお礼と「地区大会」のご案内に参りました。よろしくお祈りします。

梅村 良輔会長、井手 孝邦さん

有菌 良太さん、黒木 政純さん

長富 正博さん

つくも苑理事長 西 司さんの卓話に期待して。

長富 正博さん

昨日、佐世保市議会において、「佐世保市 歯・口腔の健康づくり推進条例」が可決されました。市町村レベルでは九州初、全国でも3番目の制定となりました。今後ともよろしくお祈り申し上げます。

納所 佳民さん、中島 祥一さん

井手 孝邦さん、増本 一也さん

誕生祝いありがとうございました。

副島 正義さん

永年会員表彰ありがとうございました。

◇	
ニコニコボックス	本日合計 16,000円
	累 計 689,000円





## 卓 話



### 『障害者が地域で普通に暮らす夢計画 ～ 障害者の夢の実現に向けて～』

社会福祉法人  
長崎県障害者福祉事業団 つくも苑  
理事長 西 司様



障害者が地域で生活するという  
ことはどういうことなのか、つくも苑の入所者  
を通して私がこれから為すべき事、その思いを  
少しお話させていただきます。

お話するテーマは「障害者が地域で普通に暮  
らす夢計画」ですが、簡単に言いますと、四ヶ  
町、三ヶ町などの人がたくさん集まる場所、  
にぎやかな場所で障害者が車いすに乗って、自  
由に散歩や買い物ができるようにしようという  
計画です。何気なく、誰もが何の違和感もなく、  
毎日の生活の中でこれを自然な光景として目に  
する。そんな日常生活が障害者にくればいと  
願っています。そんな彼らにとっての“夢”の  
実現に一番近いところにいる施設経営者として、  
何が出来るのかを考えました。

まず、つくも苑の現状を簡単にお話します。

私が理事長としてやってきた平成20年4月は、  
障害者施設170名定数と障害児施設50名定数の合  
計220名の大型施設でした。現在は児童施設を廃  
止・統合して170名の障害者支援施設です。それ  
でも身体障害者の施設としては全国一番の大き  
な施設です。

最近の障害者福祉の動向として、入所支援か  
ら在宅支援へと大きく転換しています。以前は  
施設入所の待機者が多数いましたが、現在は待  
機者はいても、「まだ在宅で大丈夫」という理由  
で施設への入所は見送られるケースが増えてき  
ました。昔とは大違いです。これも平成12年4月  
からスタートした介護保健制度の影響が大きい  
と思います。

私どもの施設も年々高齢化と障害程度の重度  
化が進んでいます。全体の7割が重度障害です。  
最高齢者は92歳、在所平均期間は21年です。実  
に30年以上入所している方が64人もいます。

私はつくも苑に行ったらどうしてもやりたい  
ことがありました。それが平成20年8月に実施  
した実態調査です。平成元年から平成19年の10  
年間につくも苑を退所して地域生活に移行した  
方12名を家庭訪問しました。この時代は重度の  
障害者が一人でアパート暮らしをするというの  
は、在宅制度や行政の理解もまだ十分ではなく、  
よほどの強い意志と勇気がないと実行できな  
かったのではないかと思います。私は、そうい  
った方々に直接会って、どんな思いで施設を出  
たいと考えたのか、現在どんな生活をしている  
のか、今の生活から見て施設をどう思うのか、話  
を聞きました。

結果は、全員が地域での生活を多くの苦勞を  
しながらも楽しんでいました。二度と施設には  
戻りたくない全員が言いました。でも、とし  
をとって体の自由がきかなくなった時は施設に  
お世話にならなければ・・・とも。

今回、我が国では初めての試みと言われてい  
ます、ホテル内の1フロアをケアホームに改  
修しての我々の夢計画の第一歩をスタートさせ  
ました。ホテルマンも全面協力です。私たちだ  
けの福祉施設というイメージでは不安がつきま  
といますが、24時間生きているビジネスホテル  
の中の福祉施設はみんなに守られているとい  
う気持ちがホテルマンの温かい行動を通して伝  
わってきます。

みなさんも、車いすの方を見かけたらさりげ  
なく見守ってください。困っている様子が見え  
たら、“私に何かお手伝いできますか？”と声を  
かけてみてください。

### \* 次回例会予告 \*

卓話予定者

佐世保市消防局長 永田 洋二様

(今週の担当：佐藤 丈治)

(カメラ担当：久富 洋一)

### クラブ会報委員会

委員 長 中村 徳裕  
副委員 長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広  
久富 洋一・佐藤 丈治